

# 甲斐市立敷島南小学校 自己評価書

令和4年2月3日(金)作成

校長 「丸茂 和也」 記述者 職名(教諭)「伊藤 浩史」

## 学校教育目標

《総括目標》 『豊かな人間性とたくましく生きぬく力を身につける子どもの育成』

具体目標

- ・明るく健やかな子ども
- ・心豊かで思いやりのある子ども
- ・よく学びよく考える子ども
- ・進んで行動しやりぬく子ども

## 学校経営方針

- (1) 信頼と愛情に基づく人間教育を推進し、心が通じ合う温かさと活力のある学校の創造と学校教育目標の具現化に努める。
- (2) 子どもの人権を尊重し児童理解と居場所づくりに努め、集団への所属感、自己有用感、成就感を味わわせる教育を推進し、児童個々の能力や個性を伸ばす教育を推進する。
- (3) 自他の生命を尊ぶ教育を推進するとともに教師・児童の心身の健康管理に努める。
- (4) 教職員一人一人が学校経営への参画意識を持ち、個々の能力や個性を生かし組織的・計画的・継続的な教育活動を構築する。
- (5) HPの更新などの学校情報の発信並びに学校公開に努め、保護者、地域の思いや願いに寄り添う開かれた学校、特色ある学校の具現化に努める。
- (6) P(計画)D(実践)C(点検)A(見直し)の組織マネジメントサイクルを活用し、説明責任と結果責任を果たすことのできる教育活動に日々努める。
- (7) 家庭・地域との連携によるPTA活動の充実、地域学習の素材や人材の活用、外部講師の招請など、それぞれの教育力を生かす中で、地域に根ざした教育の推進に努める。
- (8) 学区の交通の利便性の高まり、大地震発生時の対応が迫られる中、保護者・行政・地域と連携協力し、児童の生命の保全、安心安全の確保を図る。
- (9) 学習指導要領の理念を共有し、教職員の意識改革や授業改善につながる授業研究を主体とした同僚性、協働性のある校内研修を推進する。
- (10) 特別な支援の必要な児童に対する指導、援助について学校全体で対応する体制を構築し、ニーズに応える教育を推進する。

## 1 全体評価

・学校経営方針に基づき、教育目標の実現に向けて、一人一人の教職員がそれぞれの職務を遂行してきたことにより、今年度の自己評価、児童用アンケート、及び保護者用アンケートの結果は、肯定的回答の割合が多かった。このことから、敷島南小学校の総合評価は良好な水準にあると考えられる。

## 2 項目ごとの評価結果(達成状況・改善策)

### I 学校教育目標に関して・学校経営について(児童・保護者用アンケートも含めて)

達成状況

- ・全体的に肯定的な評価(A「とてもそう思う」、B「そう思う」)が多く、校長のリーダーシップのもと、学校教育目標達成に向けた学校経営が行われていると捉えることができる。
- 教職員
- ・以下の項目において肯定的評価(AB回答)はいずれも100%であった。I-1「学校経営方針や学校教育目標に基づいた教育活動を行っている」、I-2「学年の教育活動計画が、教育目標や重点目標を踏まえたものになっている」、I-3「学校の教育活動計画に基づき、実態に即した教育実践を行っている」、I-5「各自の意見が尊重される」
  - ・I-4「PDCAサイクルを生かした教育活動を行っている」は97%であった。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童Q27「運動会などの学校行事にしっかり取り組んでいますか」は96.5%と高かった。</li> <li>・児童Q14「委員会活動にしっかり取り組んでいますか」は96.3%</li> <li>・児童Q1「学校は楽しいですか」は90.4%</li> <li>・保護者Q24「学校行事を通してお子さんの成長が見られますか」は93.4%と高かった。</li> <li>・保護者Q1「お子さんにとって学校は楽しいところだと思う」は90.1%、</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の授業や活動でのPDCAサイクル、学校行事や年間カリキュラムでのPDCAサイクルなど、短期的・中長期的なマネジメントサイクルを年間通して今後も継続していく。</li> <li>・学校は楽しいところであるという意識を高めるために、さらに教育活動を充実させていく。年間を通して学校教育目標の実現に向けて取り組んでいく。</li> </ul>
II 学校運営について	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に教職員の肯定的な評価AB回答(A「とてもそう思う」、B「そう思う」)が多く、主体的に学校運営に参画していると捉えることができる。</li> <li>・II-4「職務上『報告、連絡、相談、確認』を行っている」、次いでII-3「他の教職員と連携して協働体制で教育活動にあたっている」は肯定的評価AB回答が100%の中でも特にA回答が多かった。職員間の統制がとれており、互いの信頼関係が高い状態であると言える。</li> <li>・その他「危機管理マニュアルの理解」「個人情報保護・情報セキュリティなどの適切な管理」においても高い評価であった。危機管理に関してもよく周知されている。</li> <li>・「業務の効率化等の働き方改革の意識」「仕事の効率化を図り時間外勤務の短縮に努める」は97%、94%であった。</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校安全計画に関しては、より職員の意見や視点を生かしさらに危機管理意識を高めていきたい。また、本年度のように引き続き避難訓練は実際の場面に生かすことを意識しながら、臨場感のある訓練を継続していく。</li> <li>・仕事の効率化においては、ICTの有効活用によりデジタル化を進め、情報共有や連絡調整等の校務効率化を図る。また、教材等の共有や連携、支援体制の整備など、協働体制の強化を図っていく。</li> </ul>
III 学習指導について（児童・保護者用アンケートも含めて）	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に肯定的な評価AB回答(A「とてもそう思う」、B「そう思う」)が多く、主体的に学力向上、授業改善などの学習指導に取り組んでいるといえる。</li> <li>・以下の項目において肯定的評価（AB回答）はいずれも100%であった。III-1「児童生徒の学びの意欲を喚起する授業を行っている」、III-2「個に配慮した基礎、基本の定着を図る授業」、III-5「協働的な学びを取り入れた授業」</li> <li>・その他「指導と評価の一体化」「ICTの効果的に活用した授業」「宿題・家庭学習に対する指導」の取り組みは96.6%であった。</li> <li>・児童Q5「先生はよく勉強をおしえてくれますか」は97.6%で最も高かった。</li> <li>・児童Q16「宿題を忘れずにしていますか」は93.5%</li> <li>・児童Q26「クロムブックを使う授業は好きですか」は93.3%</li> <li>・児童Q6、Q7「国語の授業の内容はわかりますか」「算数の授業の内容はわかりますか」はそれぞれ90.1%、88.7%だった。</li> <li>・児童Q4「学校の授業は楽しいですか」は87%だった。</li> <li>・一方、児童Q17「学校以外で学年の目標時間の勉強をしていますか」は70.9%</li> </ul>

	<p>児童Q9「授業(勉強)でわからないことがあったら先生にきていますか」は72.6%、児童Q10「人前で自分の意見を言うことができますか」は75.5%と低めだった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者Q12「お子さんは宿題(課題)を忘れずにしていますか」は93.9%で最も高かった。</li> <li>・保護者Q8「学校は熱心に授業に取り組んでいると思う」は92.5%</li> <li>・保護者Q9「お子さんは授業の内容がわかっていると思う」は84.1%</li> <li>・一方、保護者Q13「お子さんは宿題の他にも家庭で自主学習をしていますか」は47.2%</li> <li>・保護者Q23「学校はICT(クロムブック)に力を入れて取り組んでいる」は60.3%と低かった</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習の取り組みが低いことについては、家庭と連携し、家庭学習の内容を工夫し学習習慣の定着を図る中で、意欲的に学習に向かう態度をいっそう養っていく。「家庭学習のすすめ」をきっかけに、家庭学習を保護者にチェックしてもらうなどの強化週間を設定してさらに取り組んでいく。</li> <li>・授業においてICT(クロムブック)使用は定着してきており、児童も好きだと高い数値で答えているのに対し、保護者の「学校はICT(クロムブック)に力を入れて取り組んでいる」の数値は低かった。クロムブックでの宿題の機会を増やしたり、教室での取り組みの様子を積極的に発信したりしていきたい。</li> <li>・児童が教室で先生や友達とより質問したり答え合ったりできるよう、積極的対話や協働的な活動を取り入れ、よりよい人間関係づくり学習環境作りに努めていく。</li> </ul>
IV 生徒指導について(児童生徒用及び保護者用アンケートなども含めて)	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に肯定的な評価AB回答(A「とてもそう思う」、B「そう思う」)が多く、主体的に児童とコミュニケーションをとり児童理解に努めるとともに、規範意識を育む規律ある生徒指導にも努めながら学校集団づくりに取り組んでいる。</li> <li>・以下の項目において肯定的評価(AB回答)はいずれも100%であった。IV-2「児童生徒理解のためにコミュニケーションを図っている」、IV-3「規範意識をはぐくむ指導に取り組んでいる」、IV-4「キャリア教育を児童の実態に応じて行う」、IV-5「問題行動(いじめ、不登校等)の早期発見・早期対応ができている」、IV-6「児童をほめて認める積極的生徒指導に取り組む」</li> <li>・その他「民主的で規律ある学級・学年・学校集団づくりを行っている」は93.1%であった。</li> <li>・児度Q2「クラス(学年)に仲の良い友達がありますか」は95.6%</li> <li>・児童Q13「学校のきまりや約束ごとを守っていますか」は94.8%</li> <li>・児童Q3「人がこまっているときは進んで助けていますか」は92.1%と高かった。</li> <li>・児童Q25「将来の夢や希望をもっていますか」は82.9%</li> <li>・一方、児童Q12「こまったことがあったら相談できる先生がいますか」78.5%とやや低かった。</li> <li>・児童Q22「何時くらいに寝ますか」では、12時近くが17人、1時近くが6人、1時以降が6人いた。</li> <li>・児童Q19「スマホ、ゲーム、PC等を学習以外で1日どのくらい使いますか」は4時間近くが50人、4時間以上が64人いた。</li> <li>・保護者Q2「お子さんの仲の良い友達を知っている」は90.9%</li> <li>・一方、保護者Q22「お子さんは将来の夢や希望を持っていますか」は39.6%と低く</li> <li>・保護者Q10「お子さんのことで相談できる先生がいますか」は73%とやや低かった。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「将来の夢や希望を持ってない」ことについては、生きる力を育む教育(キャリア教育等)の役割が大きいと考えられる。生きる力を育む教育(キャリア教育等)の目指す資質・能力(「</li> </ul>

改善策	<p>知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性等」)は単に職業調べや一律に勤労観・職業観を教え込むというのではなく、道徳教育をはじめとした豊かな人間性の育成や様々な能力等の育成を通じて個人の中で時間をかけて形成・確立していくものであり、教育活動全般で6年間を通して意図的・継続的に育てていくものであるという職員の共通理解のもと教育活動に取り組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活習慣の大切さについて、毎月の保健便り・給食便り等を活用しながら継続的に指導していく。</li> <li>・「仲の良い友達がいる」の数値は高かったが、いじめをはじめ問題行動を許さない校内の雰囲気作り、未然防止の指導を継続していく。また、「ハイパーQU アンケート」「いじめ調査」を今後も定期的実施しながら、いじめや問題行動の早期発見、迅速で正確な事実確認のもと、校長を中心に学校組織として早期対応を図るとともに、再発防止や予防に今後も努めていく。</li> <li>・「相談できる先生」として、児童との積極的対話や関わりを増やす中で信頼関係を築き、児童が何か困ったことがあった時にはいつでも教職員に相談できるように、良好な教育環境づくりに努める。また、日頃から保護者と連携を密にして信頼関係を深めていく。</li> </ul>
V 地域との連携について	
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に肯定的な評価AB回答(A「とてもそう思う」、B「そう思う」)が多く、地域・保護者と連携し良好な関係づくりに努めながら、教育活動に取り組んでいるといえる。</li> <li>・以下の項目において肯定的評価(AB回答)はいずれも100%であった。V-2「保護者や地域の願いに応えるため学校に対する要望等を聞く機会を設け情報収集を行う」、V-3「教育活動についてお便りやホームページを通して広報している」、V-5「地域・保護者と連携し、児童の安全確保に努めている」、V-6「保護者や地域と連携し、良好な関係づくりに努めている」</li> <li>・その他V-1「教育活動の中に地域の人材や施設を活用し、地域の教育力を生かす指導」は93.3%、「PTA活動に積極的に参加している」は96.7%</li> <li>・児童Q24「今住んでいる地域の行事に参加していますか」は53.4%</li> <li>・保護者Q6「授業参観や学校開放日などは子どもの様子を知る機会になっている」は89.5%</li> <li>・保護者Q4「学校(学年・学級)だよりホームページなどから教育活動の様子を知ることができる」は85.3%</li> <li>・一方、保護者Q5「学校は保護者・地域住民からの声に耳を傾けていると思う」は「わからない」という答えが多く79%であり、上の2つに比べやや低かった。</li> <li>・保護者Q21「お子さんは今住んでいる地域の行事に参加していますか」38%</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も地域探検、公共施設や会社などへの社会科見学、絵画、福祉やJRなどの出前授業といった機会を設け、地域の方による学校教育への参画の機会があった。また、運動会の準備片付けは役員に限らず全校への呼びかけで保護者に協力していただいた。今後も地域人材を活用し、地域の教育力を生かせる場を模索検討し、より教育実践を充実させていく。</li> <li>・学校が教育活動を円滑に進めるためには、家庭や地域の理解と協力が不可欠である。日頃行っている連絡帳や電話を通しての対応、授業参観、学年懇談会、個別懇談や支部総会で家庭や地域の方々の話を聞く場を、今後も大切にしていける。併せて、学校、学年、学級だよりやホームページでの学校の考えや教育活動の様子の発信など、今後も学校教育への理解と協力を得る取組を続け、開かれた学校作りを推進していく。</li> <li>・地域でのつながりが希薄になっている。地域行事参加に価値をおき、地域で連携できるよう保護者に働きかけていく。</li> </ul>

VI	学校の特色に関して
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に肯定的な評価AB回答(A「とてもそう思う」、B「そう思う」)が多く、教職員共通理解のもと各学年・分掌において、本校の特色ある教育活動内容を取り入れ、児童の資質・能力向上のために取り組んでいるといえる。</li> <li>・以下の項目において肯定的評価(AB回答)はいずれも100%であった。VI-2「学校行事や児童会活動に児童が進んで取り組むよう指導に取り組む」、VI-3「進んで掃除に取り組むよう指導に努める」、VI-4「進んであいさつに取り組むよう指導に努める」</li> <li>・その他「積極的に読書活動に取り組むよう指導に努める」は96.8%</li> <li>・児童Q27「運動会などの学校行事にしっかり取り組んでいますか」は96.5%</li> <li>・児童Q14「委員会活動にしっかり取り組んでいますか」は96.3%</li> <li>・児童Q15「清掃活動をしっかりしていますか」は95.3%と高かった。</li> <li>・児童Q23「だれとでもあいさつをしていますか」は86.6%</li> <li>・児童Q18「家や図書館などで1日あたりどのくらい読書をしますか」では2時間以上13.7%、2時間15.7%、1時間24.6%、30分26.1%、全くしない19.9%だった。</li> <li>・保護者Q24「学校行事を通してお子さんの成長が見られますか」は93.4%</li> <li>・保護者Q19「ご家庭ではお子さんに進んで挨拶をするように言っていますか」は90.8%</li> </ul>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事などにおいては、様々な「役割」遂行の経験を積み重ねながら、達成する喜びや充実感をあじわい、さらに自分の役割を果たそうとする意欲や態度を育てていく。</li> <li>・挨拶や清掃、委員会活動の活性化のために児童会や6年生を中心に、内容を工夫しながら日々取り組んでいる。教職員が規範を示しながらしっかりと後押しをしていく。</li> <li>・本の読み聞かせや紹介、掲示物、教職員と子どもの会話など充実させ、読書の魅力を伝え読書の機会をより多くつくっていく。</li> </ul>
まとめ	<p>3 まとめ</p> <p>&lt;成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員は職員間の統制がとれており、互いの信頼関係が高い状態の中で、連携・協働して学校経営方針や学校教育目標に基づいた教育活動を行っている。</li> <li>・職員は授業の目標を示し個に配慮した基礎・基本の定着を図る授業を行っている。</li> <li>・児童は学教行事に進んで取り組み、友達と仲良く楽しみながら生活している。</li> <li>・児童は規範意識の高い生活をしている。</li> </ul> <p>&lt;課題(いっそう充実させたい事項)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童との積極的対話や関わり、保護者との連携を密にとり信頼関係を深めていく。</li> <li>・家庭学習(宿題以外)の自主的な取組の指導。</li> <li>・生きる力を育む教育(キャリア教育等)の共通理解と充実</li> </ul>